

ハザードマップさんだ

藍・本庄地区版 (令和2年7月改訂)

このマップは、兵庫県による被害想定(2020年7月時点)に基づいて作成しています。マップによる指定状況は、兵庫県 CG ハザードマップ (<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp>)にてご確認ください。

三田市では、市民のみならず市民に災害に関する情報を提供し、日ごろからの備えに役立ていただくこと等を目的として、「ハザードマップさんだ」を作成しています。

令和2年7月、以下のとおり改訂を行いましたので、ご確認ください。

- 【主な改訂内容】**※地区版では、地図の収録範囲内に限りご確認いただけます。
- 三田、広野、本庄地区において、兵庫県により新たに指定された土砂災害特別警戒区域 80箇所(急傾斜地 52箇所、土石流 28箇所)、土砂災害警戒区域(急傾斜地) 1箇所、区域変更のあった土砂災害警戒区域 9箇所(急傾斜地 7箇所、土石流 2箇所)をマップに反映しました。
 - 青野ダム記念館の廃止(令和2年7月1日)に伴い、市指定避難所「青野ダム記念館」を削除しました(風水害時等の一時的な避難のための代替施設として、下青野公園管理事務所をご利用いただけます)。

Web版ハザードマップさんだもご利用ください。



Web版ハザードマップさんだでは、スマートフォン、タブレットやパソコンなどで、目的の場所を簡単に詳しく表示できます。スマートフォンでは、位置情報を利用することで、現在地周辺の災害想定や最新の避難所を簡単に確認できます。ブックマークやショートカットアイコンに登録してご利用ください。



避難所一覧表

施設名	住所	電話
三田市指定避難所		
つつじが丘小学校	つつじが丘3丁目29番地1	568-3771
藍中学校	大川瀬1307番地36	568-3747
藍市民センター	大川瀬1307番地44	560-7651
広域避難場所	大規模な災害発生時に避難する場所	
つつじが丘中央公園	つつじが丘北2丁目5番地12	
福祉避難所	要配慮者を受け入れる場所	
総合福祉センター	川除675番地	559-5700
ひまわり特別支援学校(普通)	富士が丘3丁目25番地	562-7667
ひまわり特別支援学校(小)	富士が丘1丁目12番地	562-8667
県立上野ヶ原特別支援学校	大原橋の木1546番6	563-3434
県立高等特別支援学校	大原橋の木1546番6	563-0689

凡例

施設等	凡例	土砂災害
市指定避難所	AED設置施設	土砂災害特別警戒区域
補助避難所	その他の防災関連機関	土砂災害警戒区域(土石流)
広域避難場所	ランドマーク	土石流危険渓流
福祉避難所	市防災倉庫	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
消防署・分署・消防団	地下施設・アンダーパス	土砂災害警戒区域(地滑り)
警察署・駐在所・交番	水位観測所	
救急告示医療機関	ヘルポート	
市役所	雨量観測所	
防災スピーカー	JR・神戸電鉄	
	国道	
	高速道路	
	県道・主な市道	
		浸水実績(平成16年台風23号)

防災関連機関一覧表

機関名	住所	電話
三田市役所	三輪2丁目1番1号	563-1111
消防本部(消防署)	下深田396番地	564-0119
消防署分署	長坂1143番地	568-7119
消防署分署	志手原216番地6	559-0119
三田警察署	天神1丁目10番1号	563-0110
宝塚土木事務所三田事務所	天神1丁目10番14号	562-8883
三田市社会福祉協議会	川除675番地	559-5940
市民病院	やきや台3丁目1番地1	565-8000
平島病院	天神1丁目2番15号	564-5381
あおぞらクリニック	大瀬357番地1	560-0326

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

土砂災害警戒区域とは、急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

急傾斜地の崩壊

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の、急傾斜地の上部、下部
- 急傾斜地の上部から下部、水平距離が10m以内の区域
- 急傾斜地の下部から急傾斜地高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域

土石流

- 土石流の発生のおそれのある渓流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

地滑り

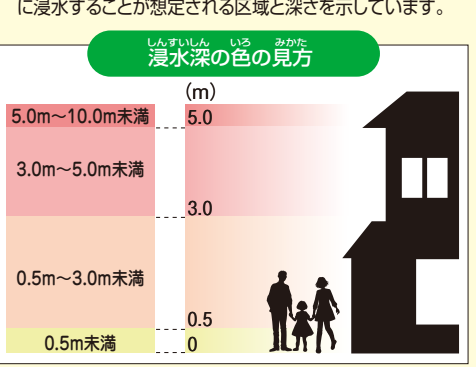
- 地滑り区域(地滑りしている区域または地滑りするおそれのある区域)
- 地滑り区域下部から、地滑り地塊の長さ(250m)を超える距離(250m)を超える場合は(250m)の範囲内の区域

地震の揺れと想定される被害

震度	被害
震度0	●人は揺れを感じない。
震度1	●屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。
震度2	●屋内にいる人の大半が揺れを感じ、眠っている人の中には目を覚ます人もいる。 ●電灯などのつり下げ物がわずかに揺れる。
震度3	●屋内にいる人のほとんどが揺れを感じ、眠っている人の大半が目覚ます。 ●壁にある食器棚が音を立てることがある。 ●電灯が少し揺れる。
震度4	●ほとんどの人が驚き、眠っている人のほとんどが目覚ます。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、壁にある食器棚が音を立てることがある。 ●電灯が大きく揺れ、自動車を運転して揺れに気づく人がいる。
震度5弱	●大半の人が恐怖を感じる、物につかまらなければならない。 ●電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、壁にある食器棚、書棚の本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 ●電柱が揺れているのがわかる。道路に被害が生じることがある。
震度5強	●大半の人が物につかまらなくなり歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 ●テレビが台から落ちる。固定していない家具が倒れることがある。 ●傾斜していないブロック塀や塀が十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難になる。
震度6弱	●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが閉かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、互が落下したり、建物が増えたりすることがある。倒れるものもある。
震度6強	●立っていることができず、はわないと歩くことができない。揺れにほんろうされ、倒れるものもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものも多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものも多くなる。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な崖すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度7	●固定していない家具のほとんどが移動し、飛ばすものもある。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものも多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものも多くなる。

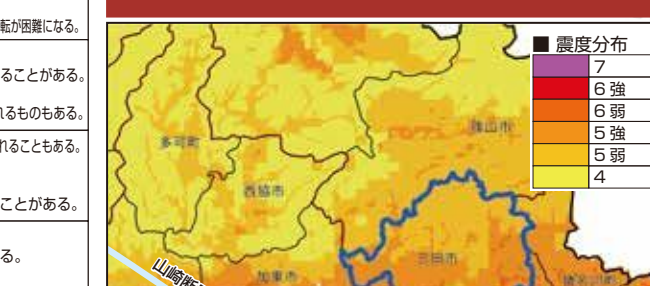
洪水浸水想定区域について

●洪水浸水想定区域は、兵庫県によって指定、公表されたもので、大雨によって河川堤防が決壊、又は溢水が発生した場合に浸水することが想定される区域と深さを示しています。



●当ハザードマップに示す洪水浸水想定区域の算定に用いられた雨量(想定最大規模降雨)は以下の通りです。
武庫川流域: 511mm/24時間
東条川流域: 788mm/2日
●雨の降り方や土地の状態、排水路等がふれることにより、洪水浸水想定区域以外でも浸水するおそれがありますので、十分な注意が必要です。

有馬一高瀬断層帯地震(震度分布図)



今後30年以内にM8~9クラスの規模の地震が発生する確率が70~80%と言われている「南海トラフ巨大地震」が発生すると、兵庫県の地震被害想定によれば三田市で最大震度が5強、死者は無く、負傷者11人、全壊1棟、避難者が13人と軽微な被害と想定されています。
また、三田市周辺には内陸直下型地震を引き起こす「有馬一高瀬断層帯」、「六甲一淡路断層帯」、「山崎断層帯」が分布しており、地震が発生すれば最大震度が6弱から5強強震と想定され、甚大な被害を及ぼす可能性があります。
家具の固定や防災備蓄を行うなど防災意識を高めて生活を普段から心がけましょう。

避難情報等の種別ととるべき行動

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。
警戒レベル4	避難指示	災害のおそれが高いため、指定された避難場所から屋内の安全な場所へただちに避難してください。避難の際は、浸水箇所や土砂災害に十分注意してください。
警戒レベル3	高齢者等避難	避難に時間を要する方(高齢の方、体の不自由な方など)、その支援者は避難を開始してください。その他の方も情報の収集や持ち出し品の準備、避難場所の確認等、避難の準備をしてください。
警戒レベル2	注意報	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

避難の方法

災害発生危険性が高まる前に早めに避難しましょう!

避難所で避難する場合

- 車は使わず、歩いて避難しましょう。
- 川沿いや橋、げげ下などは危険ですので、近くを通らないでください。
- 動きやすい服装で、二人以上で避難しましょう。
- 外に出る前に火の始末、戸締りを忘れずに。電気のブレーカーも落としましょう。

屋内で避難する場合

- 水害の場合: 周りで浸水が始まった時は近くの高所や建物の2階以上に避難しましょう。
- 土砂災害の場合: かけ、山から離れた側の2階以上の部屋に避難しましょう。

防災情報の入手方法

テレビ、ラジオ、新聞、インターネット

防災行政無線の放送 自治会への連絡

NHK、サンテレビ、J-COM関西、ハニーエフエム(82.2MHz)等

三田市防災気象情報

三田市ホームページ: <https://www.city.sanda.lg.jp/>

三田市ホームページ

さんだ防災・防犯メールの情報を受信するには事前登録が必要です。パンフレットはこちら↑ (<https://bosai.net/sanda/>)

広報車、消防団による巡回、アナウンス

その他の防災情報



非常持出品チェックリスト

- 水・非常食(3日~7日分)
- 貴重品(現金、通帳、印鑑)
- 衣料品(衣類、下着、毛布、タオル)
- ラジオ、懐中電灯、電池
- 卓上コンロ、ライター、マッチ
- 薬、ばんそうこう
- 日用品(ティッシュ、ラップ)
- 衛生用品(マスク、体温計等)



このマップについてのお問い合わせ先
三田市役所 危機管理課
TEL 559-5057
FAX 559-1254
E-mail kikikanri@city.sanda.lg.jp

緊急連絡先
三田市災害対策本部(市役所)
TEL 563-1111
消防署(火災・救急)
TEL 119

